

■2018年度 第7次大阪府医療計画PDCA進捗管理票 豊能二次医療圏

【第2回豊能医療・病床懇話会資料】

資料4

項目	中間年(2020年)までの取組み (計画より転記)	2018年度の取組内容と結果(予定含む) (左記取組み内容を記載)		次年度以降の取組み予定
		取組み内容	着手状況 (◎:実施 ○:今年度実施予定 △:次年度以降実施予定)	
地域医療構想	「大阪府豊能保健医療協議会」等において、「新公立病院改革プラン」、「公的医療機関等2025プラン」を策定する病院を中心に、各医療機関が地域で担う役割を確認し、地域に必要な医療機能、連携方策を検討します。 保健所が、保健所管内の病院関係者に対して、医療提供体制の現状と病床機能報告の結果から特に不足する病床機能を情報提供し検討する場を持ち、医療連携機能を強化するとともに自主的な取組を支援します。	病院連絡会での意見を付し、大阪府豊能医療・病床懇話会(11月22日)、大阪府豊能保健医療協議会(12月20日予定)において、圏域内の各病院が地域で担う役割を確認し、地域に必要な医療機能、連携方策を検討する予定です。	○	病院連絡会等を継続して開催し、地域に必要な医療機能、連携方策について検討します。
		圏域内の全病院を対象に病院連絡会を開催し(1回目は圏域単位で9月14日、2回目は保健所単位で、池田10月24日、吹田11月8日、豊中市11月12日)、各医療機関が担う役割、地域に必要な医療機能について検討しました。各病院のプラン状況を簡潔に把握するために圏域で作成した様式が府統一資料の基となりました。	◎	病院連絡会を実施し、引き続き医療提供体制の現状・課題について協議し、医療連携機能強化、病院の自主的な取組みを支援します。
		在宅医療懇話会(8月1日)において、在宅療養を支えるために医療機関が担う後方支援体制について要望がありました。また、第2回病院連絡会では、サブアキュート、ポストアキュートを含めた病院機能のあり方を検討しました。	◎	引き続き、在宅医療懇話会、病院連絡会等を開催し、在宅医療の取組事項の現状把握や対策を検討します。
在宅医療	入退院時において関係機関とのスムーズな連携を図るため、情報共有の取組を支援します(各種マニュアルの作成・見直しと周知、ICT導入等)。  関係機関の連携体制を構築するため、在宅医療に従事している関係者が市町の連携会議等に参画できるよう、保健所が橋渡し役になり進めていきます。  24時間365日の在宅医療推進のための薬剤師会を中心とした薬局ネットワーク化の取組を支援します。  住民の生活圏を考慮し、府外の医療機関との広域連携の構築に努めます。	入退院支援ツールとして、情報連携シートやICTの導入・活用を進めています。在宅医療懇話会では、ICTを活用した連携を推奨し、今後、各市町において話し合いを進めます。	◎	引き続き、在宅医療懇話会において、各市町及び圏域内の取組み状況を確認します。また、課題の抽出・共有などの支援をします。
		連携会議等の持ち方には差がありますが、在宅医療の従事者が参画できるように取り組んでいます。特に在宅医療・介護連携推進事業に関しては関係機関と連携して取り組んでいます。 池田市、豊能町、能勢町は地域包括ケアを支える医療の充実に向けた大阪府主導のモデル事業に参画し、11月29日に第1回会議を開催予定です。	○	引き続き、各市町において在宅医療関係者を含めた連携会議を開催し、連携体制の構築を進めていきます。
		各市町の薬剤師会において、ネットワークを構築できるように検討を進めています。在宅医療懇話会(8月1日)や薬事懇話会(8月30日)で各市町の現状や課題を共有しました。	◎	引き続き、在宅医療懇話会や薬事懇話会で検討し、ネットワーク化の取組を支援します。
		池田市は市立池田病院主催で開催している「地域医療連携推進委員会」において川西市との連携を構築しつつあります。他市町においては、退院患者カンファレンスなどを通じて連携の構築に努めています。 豊能圏域で実施している難病関係の連携会議に兵庫県隣の地域の病院も参画しています。	◎	隣接する府外の医療機関との連携構築を図ります。ICTを活用した連携を推奨します。
		豊能医療圏がん医療ネットワーク協議会で、がんの専門医療提供体制の構築、地域医療連携、がん患者の就労支援等を行っていきます。	◎	引き続き、豊能医療圏がん医療ネットワーク協議会を年2回開催し、進捗状況を確認し検討します。
		脳卒中等の脳血管疾患については、国立循環器病研究センターが事務局となり開催されている地域連携バス会議で、地域連携診療計画の評価及び情報交換・共有を行っていきます。	○	引き続き、地域連携クリティカルバス会議を開催し、地域医療の連携体制について検討します。
脳卒中等の脳血管疾患、心筋梗塞等の心臓疾患、糖尿病	心血管疾患については、医療連携を検討する会議等で、慢性心不全を含めた急性期から維持期までの医療連携体制の課題を検討します。  糖尿病については、医療連携を検討する会議等により、医科歯科連携、病診薬連携等、多職種連携による包括的なケア体制の構築を図ります。	心血管疾患地域医療連携推進会議にて医療連携方法について検討(年2回(11月15日開催・2月21日予定)する予定です)。	○	引き続き、医療連携推進会議を開催し、医療連携体制について検討します。
		池田市域(5月31日)、豊中市域(7月18日)、吹田市域(6月7日)において糖尿病地域連携クリティカルバス市域調整会議を開催し、病診連携、医科歯科連携、医歯薬連携についての現状と課題を共有しました。箕面市域会議は大阪北部地震の影響により平成31年2月7日に延期し開催予定です。平成31年3月7日に 豊能圏域全体会議を開催予定です。	○	引き続き、各市域毎に年1回市域調整会議を、圏域全体で年1回豊能糖尿病地域連携クリティカルバス検討会を開催し、医療連携体制について検討します。

## ■2018年度 第7次大阪府医療計画PDCA進捗管理票 豊能二次医療圏

項目	中間年(2020年)までの取組み (計画より転記)	2018年度の取組内容 (左記取組み内容を記載)		次年度以降の予定
		取組み内容	着手状況 (◎:実施 ○:今年度実施予定 △:次年度以降実施予定)	
精神疾患	身体・精神合併症患者の受入れ体制について、2015年度より開始された大阪府夜間・休日精神科合併症支援システムの運用状況と、ORION分析システムからみるデータとともに経過を確認していき、課題整理します。	精神医療懇話会(11月28日予定)において、身体・合併症患者の受入れ体制を共有することを目的に、府夜間・休日精神科合併症支援システムの利用状況などのデータを活用し情報提供を行う予定です。	○	府夜間・休日精神科合併症支援システムの利用状況やORION分析システム、630調査など精神疾患に関するデータを用いて経過を確認します。
	統合失調症、認知症、依存症等、多様な精神疾患にかかる関係機関による協議の場を設け、医療の充実、医療連携推進のために検討します。	精神医療懇話会(11月28日予定)の開催にあたり、圏域内の保健所で課題を抽出しました。懇話会では課題を共有し、医療の充実や医療連携の推進に関する検討を行う予定です。	○	引き続き、精神医療懇話会において、圏域内の課題の抽出や共有、医療の充実に向け検討します。
救急医療、災害医療	救急搬送及び搬送後の医療機関データを分析し、適正な救急医療体制に向けた課題抽出と分析及び評価をしていきます。	救急懇話会(10月25日)において、傷病者の搬送及び受入れの実施基準の改定、救急搬送指標の検証、メディカルコントロール協議会との統合等について意見交換を行いました。	◎	・引き続き、救急懇話会を開催し、救急搬送指標について検討します。 ・メディカルコントロール協議会との統合について、今後も調整を継続していきます。
	市民へ救急の適正利用に関する啓発を行い、救急医療の負担軽減に努めます。	各自治体及び消防本部等がホームページ等で救急車の適正利用の啓発を実施しました。	◎	引き続き、市民への啓発を行い、救急医療の負担軽減を図ります。
	救急告示病院と救命救急センターを中心としたバックアップ体制のもと、精神科疾患合併症患者の受入れ促進の対応を検討します。	救急搬送指標(11項目)では精神科疾患合併症患者の受入れ状況の把握が困難なため、救急懇話会では自損行為の応需率を参考に情報提供しました。精神科疾患合併症患者の受入れ体制は、精神医療懇話会の動向を確認していきます。	◎	現状把握及び課題整理を行います。精神科疾患合併症患者の受入れ体制について検討します。
	BCP策定が未整備の病院に対し、立入検査等の機会等で策定の働きかけを行います。	立入検査等でBCP策定について働きかけを行っています。	◎	引き続き、立入検査等でBCP策定について働きかけます。
災害時に医療機関と行政等を調整する災害医療コーディネーターと地域災害医療本部長である保健所長とが効果的に連携できるよう役割を明確化し、連携を進めていきます。	救急懇話会において、災害医療研修に関する報告を行いました。平成31年1月に災害医療に関する研修を開催する予定です。	○	救急懇話会での意見を参考に、災害時の医療機関と行政の連携について検討していきます。	
周産期医療、小児医療	医療的ケアが必要な児の在宅支援体制(訪問診療・訪問看護・レスパイト体制・相談支援事業所等)の充実を図ります。	・保健所毎に地域の基幹病院を中心としたネットワーク会議を開催し、在宅医療支援者と顔の見える関係づくりを行っています。 ・各機関の特徴を踏まえた調整を行い問題解決にあたるよう、聞き取り調査や個別の患者カンファレンスの場を通して相互理解に努めています。 ・各医療機関との連携会議等で現状を共有しています。	◎	引き続き、医療ネットワーク会議等を開催し関係機関の連携の強化を図ります。
	関係機関、医療機関との会議を継続的に実施し、連携強化とネットワークの構築をめざすとともに、関係機関と協力し虐待の早期発見にも取り組んでいきます。	・在宅医療にかかわる機関と小児在宅医療支援ネットワーク構築研修会等を開催し、小児のリハビリと発達段階に応じた介入の必要性について、理解を深める予定です。(池田10月29日開催、吹田2月2日予定) ・大学病院、市立病院、訪問診療医、訪問看護事業所、児童発達支援、放課後等デイサービス事業所等と小児在宅医療ネットワーク会議を開催予定です。(池田1月26日予定) ・産科医療機関と精神科医療機関との連携強化に努めています。(豊中市)	○	引き続き、医療ネットワーク会議等を開催し関係機関の連携の強化を図ります。